



北海道登別南高等学校校舎（北海道登別青嶺高等学校の校舎として利用される）

見えてきました！ 北海道立中等教育学校 北海道登別青嶺高等学校



北海道立中等教育学校校舎
(完成イメージ図)

今年4月、登別高校と登別南高校を引き継ぐ高校として、『北海道登別青嶺高等学校』が開校。その2年後の平成19年4月には、道内初となる中等教育学校『（仮称）北海道立中等教育学校』が開校します。

市内に、制度の異なる学校が配置されることで、生徒の個性や多様なニーズに対応できる進路形態が整います。

開校に向けて準備の進む両校の動きや市民、行政の取り組みなどを紹介します。

**地域に根ざした特色ある
学校づくりを目指す**

（仮称）北海道立中等教育学校

登別市への中高一貫教育校誘致に向けた本格的な取り組みは、平成9年にさかのぼります。

同年4月、『新しい公立高等学校のあり方を考える会』（教育関係者や広範な市民が参加して組織）から市に「生徒の個性を重視した新しいタイプの高等学校を」など、4項目にわたる提言書が提出されました。

以来、7年余にわたり、市民、議会、行政による粘り強い誘致に向けた取り組みが展開され、昨年8月末から、一つの学校として6年間一体的に中高一貫教育を行う、道内初の中等教育学校『（仮称）北海道立中等教育学校』（以下『道立中等教育学校』といいます）の建設工事が始まりました。

道立中等教育学校の概要

▼設置場所

北海道登別高等学校敷地内（片倉町5丁目18番地）

▼学校規模

生徒数：6学年で12学級480人（各学年2クラスの80人）

▼募集範囲

全道一円。ただし、原則として生徒の8割、公共の交通機関を利用して通学できる範囲から募集。

生徒の2割、自宅から通学できない範囲（寄宿舎を利用）から募集となる予定。

▼選考方法

面接や実技、作文推薦、抽選などを組み合わせた選考方法を採用する予定。具体的には今後検討を進める。

▼教育内容

- 6年間を通したゆとりある学校生活のもとで、個性を尊重した教育を推進する。
- 探求的・問題解決的な学習や情報教育を重点に、計画的・継続的な教育を行う。
- 外国語教育を重視した教育課程を編成し、実践的コミュニケーション能力を育成して、国際理解教育を進める。

▼開校



道立中等教育学校校舎
(完成イメージ図)